

駐車場開門について

- (1)本陸前駐車場は役員専用のため保護者・チーム関係者の駐車は出来ません。地下駐車場を利用してください。
- (2)ラグビー場駐車場はラグビー場使用者のため、ご遠慮ください。
- (3)地下駐車場は渋滞防止のため東より西進し、左折進入してください。(右折はおやめください。)
- (4)駐車場は混雑が予想されるので、なるべく公共交通機関を利用してください。
- (5)本陸開門は8時10分とします。ただし正面階段からのみとします。

競 技 注 意 事 項

2017小学生選手権

- 1 本大会は2017年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。ただし競技によっては、「友の会ルール」を採用する。
- 2 ナンバーカードについて
 - (1) 規定のもの(「友の会登録」のナンバー)をユニホームの胸、背に確実につける。
 - (2)トラック競技は、招集時にレーンナンバーを表す「腰ナンバーカード」を必ず競技者係から受け取る。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。リレーは、第4走者(アンカー)がつける。フィニッシュ後、直ちに係に返却する。
- 3 ウォーミングアップ場について
 - (1)ウォーミングアップ場として北陸上競技場を15時00分まで使用できる。
※レーン使用区分は原則として次の通りとする。
1・2レーンはリレー、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル
 - (2)フィールド競技は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
 - (3)瑞穂陸上競技場2階室内雨天走路の使用は、雨天時のみの使用に限る。
 - (4)9時00分まで出場競技者に限り、準備に支障のない範囲で、本競技場のトラックを使ってウォーミングアップをすることができる。
- 4 招集について
 - (1)招集所は正面スタンド下、100mスタート付近競技者ホールに設ける。
 - (2)招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。ただし、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係(招集所)に申し出ること。時間に遅れた者は出場を認めない。
招集指導は、IDカード所有の指導者の引率で行う。招集を受けない競技者は出場できない。
 - (3)招集時間は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前

- (4)リレーのオーダー用紙は、招集完了60分前までに招集所に提出する。

5 競技場への入退場について

- (1)入場は、すべて招集所より係の誘導により行う。引率指導者、付添者は競技場に立ち入ることはできない。
- (2)競技場からの退場は、下記による。
 - ①トラック競技
 - ・フィニッシュ横退場口から階段を上がり、2階の雨天走路を経て退場する。正面スタンド下、本部室前の通行は禁止する。
 - ・リレーの第1～第3走者は、各自でトラックの外側(グリーン舗装)を通過して近くの退場口から退場する。フィールドを横切らない。
 - ②フィールド競技
 - ・競技役員の指示・誘導による。

6 レーン・試技順について

- (1)トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2)決勝のレーンは、主催者において公平に抽選し、その結果は正面階段上記録掲示板に掲示する。
- (3)欠場者のレーンは空ける。

7 トラック競技の決勝進出の決定について

- (1) 写真判定により実施し、各種目上位 8 人及び 8 チームが決勝に進出できる。
- (2) 決勝進出者の決定について、同記録があり、レーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が 1000 分の 1 秒で記録されたタイムにより優劣を判定して出場者を決める。それでも決められないときは抽選する。(競技規則第 167 条)
- (3) 抽選は、アナウンスにより招集して行う。アナウンスから **10 分以内**に本部へ集合すること。決勝進出決定の発表は、アナウンスおよび大型ビジョンにより行う。また記録掲示板に掲示する。

8 競技について(友の会ルール)

- (1) スパイクシューズの使用はできるが、裸足での競技は禁止する。
- (2) スタートの方法は、クラウチングスタートもしくはスタンディングスタートとする。不正出発は各選手 1 回まで認められる。
- (3) 混合リレーのオーダーは、1・2 走者は女子、3・4 走者は男子とする。

(4) 80mハードルの規格

	台数	高さ	スタート～第1ハードル	ハードル間	最終ハードル～フィニッシュ
男・女	9台	0.70m	13m	7m	11m

(5) 混成 2 種について

- ①混成 2 種 A は、100m・走高跳の順に行う。
- ②混成 2 種 B は、100m・走幅跳の順に行う。

(6) ジャベリックボール投について

- ①ジャベリックボールは主催者が用意した物を使用する。
- ②助走距離は 15m 以内とする。
- ③試技は 3 回までとする。
- ④ジャベリックボールを手のひらで包むようにし、親指と人差し指から尾の部分が出るように握り、オーバースローで投げる。

(7) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」に限る。バーの上げ方は、下記のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以後 5cm
女子走高跳	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後 5cm
男子 2 種 A	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後 5cm
女子 2 種 A	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後 5cm

※ 1 位決定のバーの上げ下げは、2 cm とする。

9 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具(スターティングブロック・バトン・ハードル・ジャベリックボール)は、すべて主催者が用意したものを使用する。
- (2) リレー・跳躍・投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。フィールド種目のマークは、2 個まで使用できる。

10 競技用靴(スパイクシューズ)について

スパイクピンの数は片足 11 本以内で、長さ 9mm、走高跳は 12mm を超えてはならない。
またスパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm 四方以内でなければならない。

11 表彰について

- (1) 各種目 1～8 位に賞状、1～3 位に賞品を授与する。混成 2 種の優勝者には、別に記念品を授与する。
- (2) 賞状ができしだい随時行う。8 位までの入賞者は成績発表後、本部表彰室に集合すること。

12 瑞穂陸上競技場の使用について

- (1) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入って行わない。
- (2) スタンド最前列で立って、応援・観戦をしない。また、通路に立ち止まっての応援・観戦をしない。
- (3) 応援幕、のぼり旗は正面スタンドを除くスタンド最上部に限り認める。
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各チーム・クラブ、各自で責任をもって行き、環境美化に努める。
- (5) **スタンドは 16 時 15 分閉門とします。**

ゴミ問題は深刻な状況です。ゴミ処理の焼却場や収集コンテナ等が使用できない状況ですので、「ゴミの持ち帰り」をお願いします。他人に、迷惑をかけないように互いに気配りください。

13 IDカードについて

- (1) 各チームに 1 枚ずつ ID カードを貸与する。団体受付時に本部で貸し出し、競技終了後本部まで返却すること。
- (2) 選手以外は ID カードを持っていなければ招集場に入ることはできない。

14 その他

- (1) トラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分のレーン（曲走路）を走り、減速し止まる。
- (2) リレーの第1・第2・第3の各走者は、バトンを渡した後も他のレーン（チーム）の走者が、全員通過し競技役員の指示があるまで自分のレーンにとどまること。他のチームの妨害にならないよう注意する。
- (3) 本大会は、大型ビジョン・映像を活用して競技会運営を行うので、氏名・所属等の間違い、訂正があれば競技開始前までに本部に申し出る。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室（フィニッシュ付近スタンド下）において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (5) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は、各自で管理する。
- (6) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (7) カメラ、ビデオ等の撮影は、出場の学校と選手の家族のみとし、下記にある「撮影についてのお願い」に従うこと。
- (8) 本大会は愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。怪我の治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。

引率指導者の方へのお願い

競技注意事項は、指導者の方で各参加者にご指導・伝達をして下さい。
特に、招集時刻には遅れないよう、招集完了時刻5分前には招集所（スタンド下100mスタート付近）に集まるよう指導して下さい。
その後の応援・指導は、スタンドからに限定します。

撮影についてのお願い

子どもたちのため、競技会における撮影について、ご理解とご協力をお願いします。

観客席からの撮影制限について

- 1 観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは、下記の席です。
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、走幅跳の助走後方と着地前方
 - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っている間や、体を動かしているなどの準備の行動の動作時も撮影を禁止します。
- 4 望遠レンズを使つての撮影は必ず本部で許可を得て下さい。
- 5 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。

雨天走路使用上の注意

- ① 危険防止のため、なるべく北競技場でウォーミング・アップを行うこと。
- ② レースの使い方
 - a 図のように、外側2レーンを歩行とジョグに使用する。
 - b 内側1レーンを走行レーンとする。ただし、『北→南』の一方通行とする。
- ③ 選手・監督以外の方は立ち入らない。
- ④ スタンド、スタンド下の控え場所に移動する場合には、両サイドから歩行レーンを使用する。
- ⑤ 練習をする場合には、周囲に注意し、スピードをひかえて、怪我をしないようにする。

